

資料 <提言2>

三郷市放射能対策室・戸張室長 殿 平成23年9月27日

三郷市での除染活動の取り組みなどについて

三郷のこどもを放射線から守る連絡会・医師有志 代表 大場敏明

三郷市での今後の放射能対策について (メモ)

平成23年10月4日 クリニックふれあい早稲田 院長 大場敏明

1 「基本政策」について

市としての今後の決意の表明：市民の信頼を得る・市民協力の要請

(除染を始めた現時点では、「除染方針」中心でも、表明の必要)

ホットスポットの実態で6ヶ月経過

緊急に対策(詳細な正確な測定、除染)を取る必要・「測定と除染を急げ」(P100)

(半年間外部被曝した、内部被曝は? 今後も長期に残留・半減期30年)

放射線量を年間1mSv未満を目標

内部被曝を考えれば低ければ低いほど良い

子供たち・妊婦を守る(内部被曝・今後の長い人生)

市民参加の活動にする(測定と除染)

(参考「南相馬市・除染方針」・児玉論文・P95-101)

2 放射線「計測」について

「詳細」で「正確」な測定と測定「結果の公開」

*詳細な測定へ、取り組み出したのは大いに評価できます。全て公開すべきです(HPの中に、今までのも全て公表すべきです)そして市民参加にしましょう(多くの市民が、測定しています・・・高い値の所一市へ報告・・・市で確認測定) 山内論文参考

*動作不良問題(市HP 2011年09月16日 放射線量測定につきましては、これまで使用してきたシンチレーション式サーベイメーター(日立アロカ TCS-161)の動作不良が生じたことから、最新の測定器機(日立アロカ TCS-172B)を手配し実施いたしました。) <実に、根源的な深刻な問題です……>についての、原因の分析、動作不良が出たことへの反省、市民測定結果を否定してきたことへの反省、「心配するほどではない」の根拠が間違っていた(前回懇談時に、市民も素人だが、市職員も初めての作業で、同じ素人と指摘)

3 「除染」について

「除染方針」「除染計画」の策定(専門家の助言・指導も、もらっては如何)

児玉教授の提起「能動的・積極的放射線防護」(p102)

子供たちの生活している場の徹底的除染

妊婦・子供の受診病医院対策・その他で高濃度汚染部分の除染

利用する公共施設(幼稚園・保育園・学校・公園等)・病医院

(参考「南相馬市・除染方針」)

除染作業：市対策室 + 土木課? (専門家の助言・指導も如何)

児玉教授 推奨の「まてないみせ」原則

必要に応じて専門家の協力をもらう

高濃度の所は、被曝の危険があるので、専門家の除染に

汚染土壌などの処理・保管場所など (p104) 国・県との関係 …